

「古き」と「新しき」の共存

浦安市中央公民館

公民館の取組概要・経過

中央公民館は浦安で最初の公民館として、昭和39年4月に開館した。その後、昭和60年に建替えを行い、体育館を有する延床面積3,732㎡の複合的な施設となった。

令和元年度実績で年間利用者は延人数で約95,000人、利用件数は約5,800件と、市内7公民館の中で最も多く、市内の中心的な公民館として、市民の学習・交流拠点としての役割を果たしてきている。

また、昭和50年代から始めた、**市民親睦囲碁大会、市民親睦将棋大会、公民館文化祭、寿民謡学級などの高齢者を対象にした事業**は現在まで継続している。そして、これらの事業は、中央公民館の後にできた公民館が行う事業のモデルとなってきた。中央公民館では、これらの事業の他、幼児・青少年、子育て中の世代向けの事業や、現代的課題に関する学習、さらには、**ICTのような新しい分野の事業**にも取り組んでいる。

取組による成果や効果、大切にしていること

囲碁や将棋の大会、文化際は毎年度多くの市民が参加・交流し、地域づくりにつながっています。また、高齢者対象の事業についても、高齢者の居場所づくりになるなど大きな実績を上げている。

また、ICT活用のような新たな事業も多くの市民が参加し、好評を得ている。

今後も、新たな市民ニーズに応える事業や、若い世代を取り込んだり、世代間交流ができる事業の充実を図っていく。



都道府県名	千葉県	公民館対象人口	35130人	インターネット接続環境	無	
市区町村名	浦安市	建物設置年月日	昭和39年5月1日	来館者利用可能PC台数	0台	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 15185人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 77353人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2844人	計	95382人	
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ()	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人	計	6人	
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄付等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> SNS等オンライン活用		
施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()					
各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 (近隣自治会、社会福祉協議会支部、婦人の会、公民館利用サークル、警察、市役所他課)					

浦安市中央公民館

OPEN 9:00-21:00

TEL 047-351-2638

H P www.urayasu.manabi365.net

SNS



特に力を入れていることや特徴的な取組は何ですか？背景や実施上のポイントなどと合わせて教えてください。

●地域づくりの拠点として、市民の連帯・自治意識を育む事業

昭和50年代、良好な生活環境をもつふれあいのある地域社会づくりを目指して、連帯感や市民意識の形成に役立つ事業として、市民親睦囲碁大会と市民親睦将棋大会を、そして、公民館活動の成果の発表と利用者相互のふれあいの場として公民館文化祭を始めた。令和元年度の参加実績としては、文化祭は66団体・2,931人、囲碁大会は58人、将棋大会は45人であった。公民館文化祭は、参加者に一層の達成感や連帯感・充実感が得られるように団体・サークル主導型の実行委員会形式でおこなっている。また、近隣自治会や社会福祉協議会支部、婦人の会など地域の団体と連携しながら実施しており、地域住民からも高い評価をいただいている。



●高齢者を対象にした事業

比較的高齢者の利用が多い中で、主催事業「寿民謡学級」をはじめとした「寿かな書道」「寿べん習字」といった寿シリーズは、長年にわたり事業を展開しており、参加者からの評価が高く、高齢者の居場所づくりになるなど大きな実績を上げている。



●ICTのような新しい分野の事業

高齢者の利用が多い中、シニア層のICTへの興味・関心をお持ちの方が少なくないといった背景を契機に、令和元年度より「スマートフォン教室」を開催している。また、小学校におけるプログラミング授業の必修化を受け、「子どもプログラミング教室」を開催している。

公民館としての様々な取組によって得られた、成果や効果にはどのようなものがありますか。（できれば箇条書きで）

特徴的な取組による成果・効果

- ・文化祭は日頃の学習成果の発表などを通して利用者相互、さらには地域住民の交流の場となっている。また、囲碁大会・将棋大会では、多世代交流が図られている。
- ・高齢者対象の事業は、長年にわたり展開しており高齢者の居場所づくりになっている。
- ・昨年度から新規事業として始まった「スマートフォン教室」や「子どもプログラミング教室」には多くの参加をいただき、参加者の満足度も高く、新たな市民ニーズに応えることができた。

これまでの取組全体による成果・効果

- ・市民ニーズや社会情勢に応じた事業展開を心がけて取り組み、利用者相互の交流として、また地域づくりの拠点としての役割を果たしている。



取組の改善・検証を行う仕組みとその方法について教えてください。

年6回開催される公民館運営審議会の意見や事業参加者のアンケート結果を踏まえて検証を行い、必要に応じて改善を行っている。

新たに、また、継続して取組を行う上で、苦労した(している)こと、どう乗り越えたか(ようとしてるか)を教えてください。

参加者の多くは高齢者であり、子ども向け事業がいくつかあるとはいえ、参加者は多くない。そういった中で、子ども・若者層獲得に向けた事業の発信として、令和元年度は「子どもプログラミング教室」を開催した。

これからも学校との連携等を重要視し、多世代の拠り所となる環境づくりに向け努力していきたい。

公民館として大切にしていること、大切にしている考えなどを教えてください。（キーワードは赤字）

- ・地域住民のための学習拠点として、中心的な役割を果たす。
- ・多世代の方の拠り所として、人々が気軽に集うことが出来る場づくりとしての役割を心がける。



最後に、これから公民館をどのようにしていきたいと考えていますか。次の仕掛けやビジョンについてもぜひ教えてください。

地域住民の教育・文化の向上のための施設として、世代を超えた地域づくりの拠点として、人々や地域社会の活動を支援していく。そのためは、若い世代をはじめ、多様な世代の公民館利用を促進する仕組みづくりと取り組みが重要である。